

事業所自己評価シート

職員による自己評価

A：環境面

日々、清掃を実施しており、清潔な環境の維持を心がけている。

スペースの工夫をして活動をしている。

B：児童への支援内容

活動内容特性に合わせて、対応を工夫している。対応等について、職員間の共有も事前・事後にミーティング等で行っている。

C：関係機関との連携

定期的に相談員と関係者会議等を実施。必要に応じて連携をしている。

D：保護者への説明責任・信頼関係

茶話会、勉強会等を実施。定期的な面談以外でも気軽に相談できる体制をつくっている。

E：非常対応

定期的に避難訓練を実施。

緊急時対応のスキルアップに努めている。

保護者による評価

A：環境面

スペースが少し狭いが、工夫して活動してくれている。

B：児童への支援内容

子供が楽しみに通所している。

子供の成長に合わせて、活動の難易度も工夫してほしい。

子供の担当職員以外の職員の名前を知らない。

C：事業所からの情報発信

普段どのような活動をしているのか、発信してほしい。

見学できる機会があると良い。

子どもは楽しんで帰ってきているが、活動内容の説明が足りない。

D：非常対応

適切に実施されている。

事業所内での分析

【共通点】

- ① 狭いスペースでの活動内容の工夫が必要。
- ② 児童の成長に合ったカリキュラムの構築。

【相違点】

担当の職員しか名前を知らない。子供は楽しんでいるが、どんな活動をしているのか不明。

分析・検討してみたて…

事業所の強み

- ・利用児が毎回の活動を楽しみに通所している。
- ・職員の離職率が低い為、利用児にとって安定した人的環境を提供する事が出来ている。
- ・送迎がない為、毎回同じメンバーで同じ活動を継続する事が出来る。

事業所の改善点

- ・担当職員を周知する。
- ・活動内容を発信する。
- ・スペースが狭い為、活動内容を工夫する。

事業所の改善への取り組み

- ・曜日別に出勤している職員の顔写真を、玄関入口等に掲示する。
- ・活動内容を、ブログ等で発信できるようにする。
- ・新型コロナの感染拡大の収束が見通せる時期になったら、希望保護者へ、活動の見学も受け入れる。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

事業所による自己評価と保護者による事業所評価の比較をする事で、普段運営をしている事業所には見えない課題が浮き彫りになった。

こういう機会に客観的な視点で評価をし、事業所の成長・改善につなげる事ができると感じている。今後も、利用児・保護者の最善の利益を追求したサービス提供をするために、役立てていきたい。

事業所名：発達応援団ピュアキッズ